

令和元年度 学校評価自己評価計画(最終) No.1

海田町立海田東小学校

学校教育目標 「考え実践する 海田東っ子 笑顔・あいさつ・思いやり (EAO) - 『よく学び』『よく遊び』『やさしく強く』」 育成したい資質・能力 「深く考える力」「主体的に学ぶ意欲」「自己を理解する力」

中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価項目	指標	最終報告までの取組	評価基準				評価	結果の分析	来年度に向けての取組 (だれが いつ 何をするのか)
						A	B	C	D			
						目標達成	ほぼ達成	もう少し	できていない			
知	主体的・協働的に学ぶ意欲をもつ児童の育成  自分の考えを深めることのできる児童の育成	・「全国学力・学習状況調査」(6年)「海田町標準学力調査(NRT)」(2~5年)の結果をふまえた学力向上の取組。  ・思考力を深める授業づくり(話し合いの充実)	①「海田町標準学力調査」(CRTの結果)	・「海田町標準学力調査」全国平均正答率との比較(全国平均正答率以上の学年数)。	①学力調査 ・調査問題を分析し、改善計画を立て、日々の学習指導に生かした。 ・のびっこの一か月の計画を立て、学年で課題となる問題に取り組んだ。 ・NRT30%未満の3~6年生について10月から給食前学習を行った。1月から2年生への取組も行った。	全学年	5学年	4学年	4学年未満	B	①学力調査 ・全国平均以上の学年は、5学年。基礎的・基本的な内容は、概ね定着している。 ②考えを深める ・児童の意識調査結果...81.2%(中間より+2Pt) ・児童の意識調査結果...95.6%(中間より+24.7Pt) ・考えを表現し、互いの考えを交流することができるような話し合い活動の充実。既存の知識・技能をつないだり、活用・発揮したりできるような発問の工夫を行った。 ・校内研修や研究通信等で授業づくりのポイントや改善の視点等を共有しながら取り組んだ。 ・理論研修や研究通信等で、授業づくりのポイントや改善の視点等を共有することで、思考力を深めるための手立てを具体として、授業を行う教師が増えた。 ・思考の視点を明確にし、発問や板書、ws等を工夫することで、児童の多様な考えを引き出すことができた。	①学力調査 ・のびっこタイムを充実させ、児童の実態を詳細に把握し、今年度の課題の内容を確実に定着させる。 ・結果の分析を行い、課題に応じた授業改善や個別指導の充実を図る。 ・机間指導を大切に、30%未満の児童への手立てを充実させていく。 ②考えを深める ・話し合い活動を意図的に仕組むことで話し合いの前後の自分の考えを比較させながら、児童自身に思考の深まりを実感させる。次年度も継続して、児童の思考を深めるための発問や手立ての工夫などを明確にした授業づくりを行う。 ・「振り返り」の視点を明確にし、児童が学びを省察する場を工夫する。
			②思考力を深める授業の実施	・児童アンケートにおける、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている児童の割合。 ・教師アンケートにおける、友達と話し合うなど、考えを深めたり、広げたりする授業を行っている教師の割合。	②考えを深める ・思考を深めるための手立てや工夫を明確にした授業づくりを行った。また、研究協議会では、手立てが有効であったか、児童の発言などにより分析を行った。 ・授業づくりに向けての理論研修を行い、共通認識をもって取り組んだ。	85%以上	80%以上	75%以上	75%未満	B	②「振り返り」の視点を明確にし、児童が学びを省察する場を工夫する。	
徳	美しいあいさつや美しく整えることに取り組む児童の育成  思いやりを持ち自分や友だちを大切にできる子	・あいさつ運動 ・返事の指導  ・言葉遣いの指導  ・はきものそろえの指導	③あいさつ運動の実施 返事の指導の取組	・児童及び教師アンケートにおける相手に聞こえる声で、あいさつや返事をしている児童の割合。 ・保護者・地域アンケートにおける「わが子(海田東小児童)は相手に聞こえる声であいさつや返事をしている」と考えている保護者の割合。	③あいさつ運動 ・朝のあいさつ運動に、学年や児童委員会で参加した。 ・「あいさつ木ら木ら」活動を行い、あいさつができていると認められた児童の名前を放送で紹介したり、校内に掲示したりした。	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満	B	③ ・アンケートの結果は、児童89%、教師87%、保護者79%、地域69%、平均は81%であった。 ・児童は学校での意識は高まってきたが、地域では恥ずかしがっていたり自分からできていなかったりして広がっていない。	③ ・学年ごとに朝のあいさつ運動に取り組む。 ・進んであいさつをする児童を評価する「あいさつ木ら木ら」や缶バッジの取組を、生徒指導部が中心となって行う。
			④言葉遣いの指導の取組	・児童及び教師アンケートにおける相手に応じて、丁寧な言葉や敬語を使って話ができる児童の割合。	④言葉遣いの指導 ・毎日の学校生活の中で、継続して言葉遣いの指導に取り組んできた。	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満	B	④ ・アンケートの結果は、児童85%、教師64%、平均は75%であった。 ・児童と教師の意識のずれが少し縮まった。 ・教師の声かけがないと、正しい言葉遣いが自分ではできない児童がいる。	④ ・入室するときの言葉などを統一した話型を示して、全校で取り組む。 ・教師がお手本となる言葉遣いをする。できていない児童には、その都度指導をする。
			⑤トイレのスリッパそろえの指導の取組	・児童及び教師アンケートにおけるトイレのスリッパをそろえている児童の割合。	⑤トイレのスリッパそろえの指導 ・各学級や美化委員会でチェックを行った。 ・放送でチェックの結果を全校に伝え、スリッパそろえを呼びかけた。	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満	B	⑤ ・アンケートの結果は、児童85%、教師79%、平均は82%であった。 ・スリッパのそろえ方の写真や掲示物、枠などが効果的だった。 ・時間や場所によって差がある。	⑤ ・スリッパが乱れているときは、教師がその都度そろえる。 ・美化委員会が全校に呼びかける。
⑥行事等における「よいとこ見つけ」の取組 児童の自己肯定感を高める日常の取組	・児童アンケートにおける、自分には良いところがあると考えている児童の割合。	⑥「よいとこ見つけ」の取組 ・自己肯定感を高めるために、自分の良いところを見つけるようにした。 ・各学級から1名ずつ選び、放送で紹介したり校内に掲示したりした。	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満	B	⑥ ・アンケートの結果は、児童83%であった。 ・自分の良いところがなかなか書けない児童もいたが、回数を重ねるうちに書けるようになった。	⑥ ・「よいとこ見つけ」に引き続き取り組み、友達や自分の良さを認め合う意識を高める。 ・掲示や校内放送で紹介して、全校で共有する。 ・学校全体だけでなく、学年や学級単位でも「よいとこ見つけ」に取り組む。  あいさつ、言葉遣い、スリッパそろえは、担任が中心になって、学級指導や道徳の時間などと関連付けながら指導していく。			

令和元年度 学校評価自己評価計画(最終) No. 2

海田町立海田東小学校

学校教育目標 「考え実践する 海田東っ子 ー笑顔・あいさつ・思いやり (EAO) ー 『よく学び』 『よく遊び』 『やさしく強く』」 育成したい資質・能力 「深く考える力」「主体的に学ぶ意欲」「自己を理解する力」

中期 経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価項目	指標	最終報告までの取組	評価基準				評価	結果の分析	来年度に向けての取組 (だれが いつ 何をするのか)
						A	B	C	D			
						目標達成	ほぼ達成	もう少し	できていない			
体	進んで健康的・安全を考える子	進んで基本的生活習慣の定着に取り組む児童の育成	⑦ 基本的な生活習慣徹底のための指導の取組	・基本的な生活習慣の徹底 ・外遊びの充実	⑦ 基本的な生活習慣の徹底 ・2学期終わりに、無欠席の児童を放送で紹介した。 ・生活リズムカレンダーで生活リズムの定着を図る。 ・インフルエンザ予防のための手洗いうがいの徹底を図るため、窓開け、湿度を保つためのスプレーなど放送等で呼びかける。	65%以上	60%以上	50%以上	50%未満	C	⑦2学期末現在で無欠席児童は、56%であった。手洗いうがいを呼びかける放送や窓開けの徹底を行ったことはよかった。 ⑧ ・水曜日の外遊びは定着している。 ・気候が温暖で雨も少なく外遊びをする機会が多くあった。また、世の中のスポーツの盛り上がり(ラグビーなど)の影響から興味をもって運動する児童の姿が見られた。 ・国際学院高校のグラウンドを使用してのロング昼休憩を2回実施できたことをきっかけに他学年と遊ぶ児童の姿が見られた。 ・運動する機会を増やす取り組みの実施(体育委員会による体力アップイベント) ・体育朝会による学級対抗長縄大会の実施。	⑦保健体育部が中心となり、基本的な生活習慣の取り組みを実施したり定着状況などを把握したりしながら、さらに健康的な生活の充実に努めていく。 ⑧引き続き外で遊ぶ機会の保障や児童自らが遊びを楽しめるような取り組みを保健体育部が企画運営していく。
						90%以上	85%以上	80%以上	75%以上			
	人や自分の命を大切にし、安全な生活をしようとする児童	・避難訓練等における事前・事後指導の徹底	⑨ 防災教育の実施	・児童及び教師アンケートにおける、自分の命を守るための安全な行動の仕方が分かっている児童の割合。	⑨ 防災教育の実施 ・避難訓練の実施 ・学習発表会での防災に関する5年生の取り組み紹介。	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満	A	⑨ ・避難訓練は学期に1回実施できている。その都度、事前指導や振り返りを全学級で実施し、命を守る行動について指導できた。 ・学習発表会で5年生の総合的な取り組みの発表で、防災について全児童へも避難行動等を呼びかけることができた。	⑨避難訓練の機会に命を守る行動について各学級で指導できる教材の開発を保健体育部が行っていく。また、5年生の総合的な学習で防災を取り組みその学習の成果を全児童へ広める取り組みを実施していく。
開	地域に開かれた学校	家庭・地域と連携し、信頼される学校を目指す	⑩ 保護者・地域参加型の授業の実施	・保護者・地域の方参加型の授業を各学年1回以上実施。	⑩ 保護者・地域参加型授業 ・年間の計画に沿って「生活科」や「総合的な学習の時間」「学活」等で実施した。地域の方や施設等との事前打ち合わせを綿密に行って実施した。	全学年1回以上	全学年1回	4学年	4学年未満	A	⑩全学年で1回以上、保護者・地域参加型の授業を実施することができた。学習や取組のねらいが達成できるよう、事前打ち合わせを大切にすることができた。	⑩今年度の保護者・地域参加型の授業の取組について成果と課題を確実に引き継げるようにし、来年度初めの各学年の計画立案に生かす。
			⑪ HP, 学校・学年だよりによる情報の発信	・HPを月2回以上更新。 ・学校だより, 学年だよりを月1回以上発行。	⑪ 情報の発信 ・学校行事や研究授業, 普段の授業の様子等をHPや通信で積極的に発信した。また, 児童の反応や感想等も載せ, 保護者や地域の方々为学校の取組をより分かりやすく感じていただく工夫をした。	90%以上	85%以上	80%以上	75%以上	A	⑪HPを月2回以上更新し, 学校だより, 学年だよりを月1回以上発行することができた。授業の様子や行事等を積極的に載せることを通して, 児童の学校での様子を積極的に発信することができた。	⑪来年度もHPや通信を通じて, 学校行事や授業等学校の取組や児童の様子等を積極的に発信していく。そのために, ICT担当を中心に呼び掛けを行うとともに, HPに情報をアップできる教職員を増やす。
			⑫ 意図的, 計画的な家庭訪問の実施 スクールカウンセラー訪問, 相談窓口等の保護者への周知	・保護者アンケートにおける, 学校の取組を信頼できると考えている保護者の割合。	⑫ 家庭連携の充実 ・家庭訪問実施の基準に従い, 引き続き意図的, 計画的な家庭訪問を行った。特に, 生徒指導上の事案に関わっては, 組織的な対応を行い, 保護者に来校していただき連携を行うケースもあった。 ・スクールカウンセラーの利用については, 個別の声かけも行いながら, 積極的に呼びかけを行った。	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満	A	⑫保護者アンケートの「本校は, 保護者の皆様にとって信頼できる取組を行っているますか。」という質問の肯定的回答が97%(信頼できる40%, どちらかといえば信頼できる57%)であり, 多くの保護者に信頼していただいている。	⑫来年度も引き続き, 組織的な対応により, 意図的, 計画的できめ細かい家庭連携を行う。また, 日常の様子について電話や連絡帳を通じて伝えていくことも継続していく。さらに, スクールカウンセラーを利用するだけでなく, 子育てに関わるカウンセラーからの情報等を学校通信等で発信し, 保護者と共有していく。